

## 『環境教育学研究』東京学芸大学環境教育研究センター研究報告投稿規定

1990年 第1回編集委員会制定

平成29年5月10日 一部改正

1. 本誌『環境教育学研究』東京学芸大学環境教育研究センター研究報告は、環境教育に関する研究及び実践活動の推進を目的として刊行する。
2. 本誌の刊行、編集は、編集委員会が行う。編集委員会は1の目的に準じて論文等の採択を行う。
3. 本誌は、原則として毎年1回発行する。
4. 掲載された論文は原則インターネット公開（大学リポジトリ掲載等）とする。
5. 本誌に投稿できる記事は、1の目的に準ずる未発表のものとする。
6. 本研究報告に投稿できる者は下記の通りとする。
  - (ア) センターの専任及び兼任所員
  - (イ) その他、編集委員の推薦により編集委員会が認めたもの
7. 本誌は、原著論文、教育実践報告、研究ノートのいずれかの記事を掲載する。
  - (ア) 原著論文  
研究の結果を十分考察した内容でオリジナリティのあるもの。
  - (イ) 教育実践報告  
環境教育の実践活動について、その目的や手法、得られた成果を評価し報告するもの。
  - (ウ) 研究ノート  
特定主題に関し、①研究動向・事実状況等を展望し研究上の提言を行ったもの、②資料や教材の紹介に重点を置きつつ考察を加えたもの、③その他の萌芽的研究を記したもの。
  - (エ) その他  
エッセイやフォーラムなど編集委員会が必要に応じて設定するもの。
8. 投稿原稿は、和文または英文とする。
9. 原稿は原則として返却しない。
10. 執筆者による校正は原則として初校までとし、その際、大幅な修正は認められない。
11. 原稿は、ワープロソフトによって作成することを原則とし、本文、表、図の全てを1つのwordもしくはpdfファイル（または図のみ別のpdf、jpeg、tiffファイル）にまとめて電子メールに添付し送付するか、または電子媒体（CD-ROM等）に保存し郵送する。
12. 原稿の初めに、表題、著者名、所属機関を記入し、次に英文の表題、著者名、所属機関を記し、300語以内の英文要旨および5語以内の英文キーワードを付する。
13. 図表などは、別紙に1枚ずつ書き、図1、表1のように、それぞれ一連の番号と表題および著者名を付し、本文原稿用紙にその挿入箇所を指定する。

14. 本文中における参考文献は次のようにする。
- (ア) . . . . . については、中村（1989）が次のように指摘している。
  - (イ) 中村・加藤（1988）は、. . . . . といっている。
  - (ウ) 3名以上の場合には第1著者に「……ら（1987）」を付して他を省略する。
  - (エ) 同一著者かつ同一年のものについては、年号の後にアルファベットを付して、1988a、1988bのように区別する。
15. 引用文献リスト
- リストは、本文中に引用した文献だけを、第1著者のアルファベット順で配列し、著者が3名以上の場合でも全員を列記する。
- (ア) 雑誌などの場合  
著者（西暦発行年）、表題、雑誌名、巻数、号数、論文所在ページ。
  - (イ) 単行本の場合
    - ① 著者（西暦発行年）、書名、発行所、発行地、ページ。
    - ② 著者（西暦発行年）、表題、編集者又は監修者、書名、発行所、発行地、所収ページ。

#### 附則

この投稿規程は、平成29年5月から施行し、第27号から適用する。